

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校の重点努力目標には、「情報活用能力を養い、思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりに努める」という一文があります。キャリア教育の目標として、希望する生活や進路を自己決定・自己選択できる力の育成があります。

生活に必要な情報を収集し、自己決定・自己選択できるような力をつけていく取組を紹介します。

- 高等部 社会の様々な情報やサービスを知る。自分で解決できるかどうか判断し、適切な人に相談する。
- 中学部 生活に必要な情報を知り、活用する。困ったときには、自分から状況を伝える。
- 小学部 生活に必要な身近な情報を知る。困ったときには、身近な人に助けを求める。

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部金融学習>

小学部6年生は修学旅行における事前学習の一つとして「お金の使い方」について学習しました。修学旅行で予算内に買い物ができるように「おかいものすごろくゲーム」というゲームを通してお金に関する基礎知識を学びました。その中には「君ならどうする?」という質問コーナーがあります。「欲しいもの」と「必要なもの」、どっちを先に買いますか?というような質問です。自分の所持金を考えて買うかどうかの判断をする場面での、重要な判断基準を学びました。それを基に自己決定・自己選択します。



「欲しいもの」と「必要なもの」を分けて考える力は、学校卒業後も応用・般化でき、生活の質を高めます。このような能力を活用し、修学旅行では主体的に判断しながら適切な買い物をして、「上手に買い物できた」という成功体験を積み重ねることができました。

<中学部>

中学部では、個人に配付されたタブレット端末を用いて教科学習を行っています。2年生の数学科「数を数えよう」の学習では、画面に提示された数字を見て、同じ数になるものを教室や校舎内から探し、自分で写真を撮って数が合っているかを確認しました。学習に必要な情報を自ら探し、それを活用して解決していく学習となっています。また、1年生の校外体験事前学習では、「グーグルマップ」を使ってバスで通る道を調べ、見学地の様子を調べました。どんな景色が見えるか、どのくらいの時間がかかるのかといったことを調べ、学習に見通しをもつことができました。



<高等部>

高等部2年生は、9月28日(水)から30日(金)にかけて修学旅行に出かけました。修学旅行の事前学習として、「お金の使い方」「公共交通機関の利用の仕方」「ホテル・宿での過ごし方」などについて学習しました。写真やイラスト、ICT機器などの視覚的教材を活用しながら、お金の管理や活用法、ルールやマナーに関する基本的な知識からそれらに対する考え方などを学びました。



写真や映像を見て、「このようなときにはどのように行動するべきか。」など、具体的な場面を設定し考えるという方法で、生徒同士での対話を通して、よりよい行動や考え方について学習することができました。学習の中で、「小遣いの額を考えながら、計画的にお金を使う。」「他のお客さんの迷惑にならないように、自分勝手な行動は慎む。」「宿泊する際には、ルールやマナー、時間を守り、規則正しく行動する。」など、様々な意見が出てきました。卒業後の社会人生活に向けても、とてもよい学習になったと思います。